

# 令和4年度 東京の水産業振興に向けた専門懇談会（第1回）

## 次第

日 時 : 令和4年8月23日（火）  
11時00分～12時30分  
場 所 : 都庁第一本庁舎7階中会議室

### 1 開会

### 2 知事挨拶

### 3 メッセージ（オンライン）

セイラズフォーザシーロックフェラーjr. 名誉会長ご夫妻

### 4 出席者紹介

### 5 第一部

#### （1）基調講演

「東京都の持続可能な水産業振興とブルーシーフードガイド」

セイラズフォーザシー日本支局 井植理事長

### 6 第二部

#### （1）議事

議題 東京の水産業振興に向けた意見交換

#### （2）その他

### 7 閉会

## 東京の水産業振興に向けた専門懇談会 専門家等名簿

氏名	現職等
江口 慎一	(株) 轍 代表取締役
関 いずみ	東海大学人文学部 教授
長谷 成人	(一社) 東京水産振興会 理事
長谷川 琢也	(一社) フィッシャーマン・ジャパン 事務局長
山本 圭一	NTTコミュニケーションズ株式会社 ソリューション&マーケティング本部 事業推進部 地域協創推進部門 担当部長

(五十音順、敬称略)

### 基調講演者

氏名	略歴
井植 美奈子	デイビッド・ロックフェラーJr.氏が米国で設立した海洋環境保護NGO、セイラーズフォーザシーの日本支局を2009年に設立。現在、同団体理事長。 水産資源の持続可能な消費をめざす『ブルーシーフードガイド』等のプログラムの開発、運営による啓発活動で持続可能な社会の実現を目指す。 2021年、東京都と水産物の持続可能な利用及び海洋環境の保全について包括協定締結。

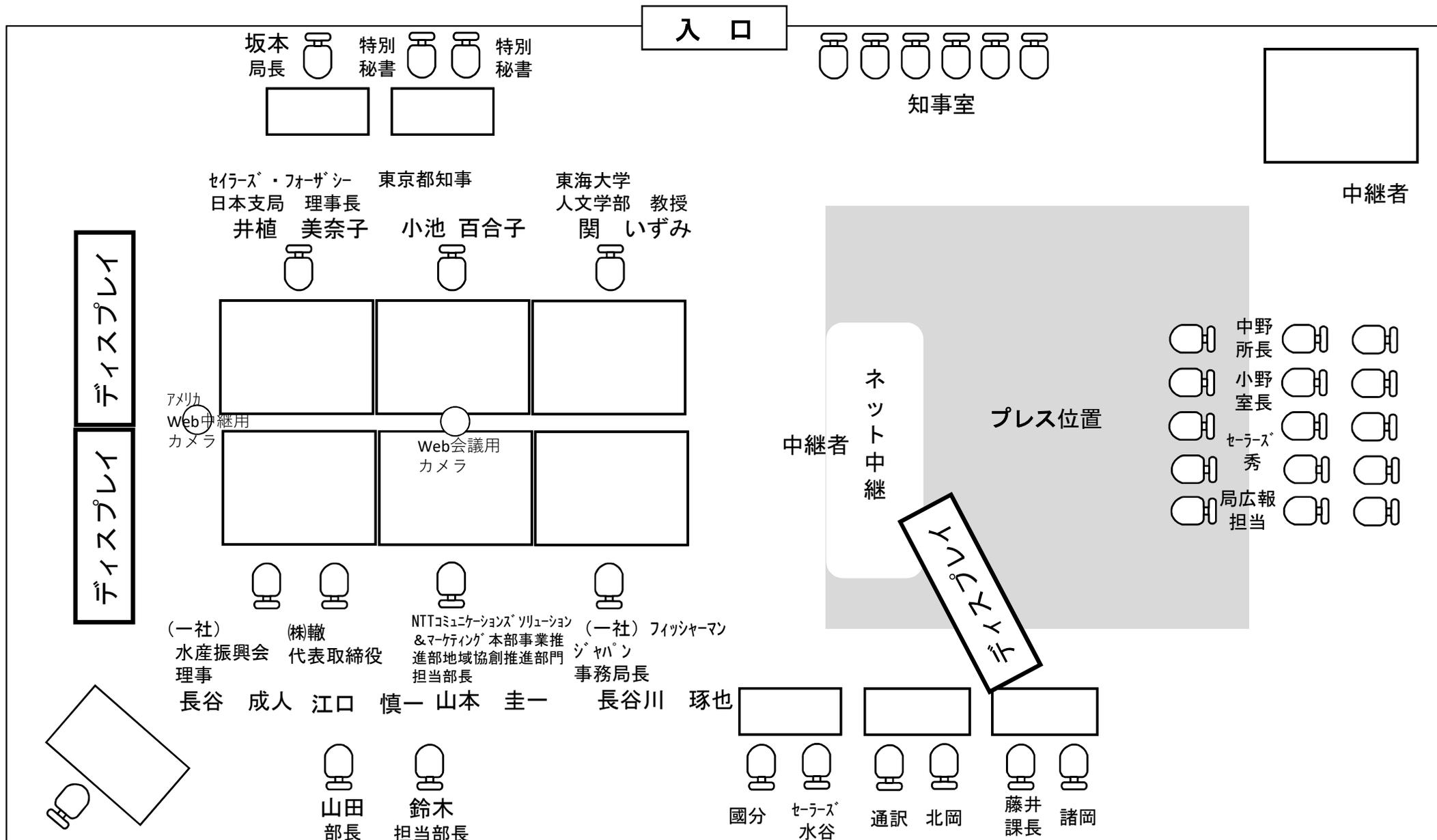
### 来賓（オンライン参加）

氏名	現職等
デイビッド・ロックフェラージュニア <b>David Rockefeller, Jr.</b>	(一社) セイラーズフォーザシー日本支局 名誉会長
スーザン・ロックフェラー <b>Susan Rockefeller</b>	オシアナ 理事 (海洋環境保護団体)

# 東京の水産業振興に向けた専門懇談会（第1回）開会～第一部座席表

令和4年8月23日（火）11時00分～12時30分

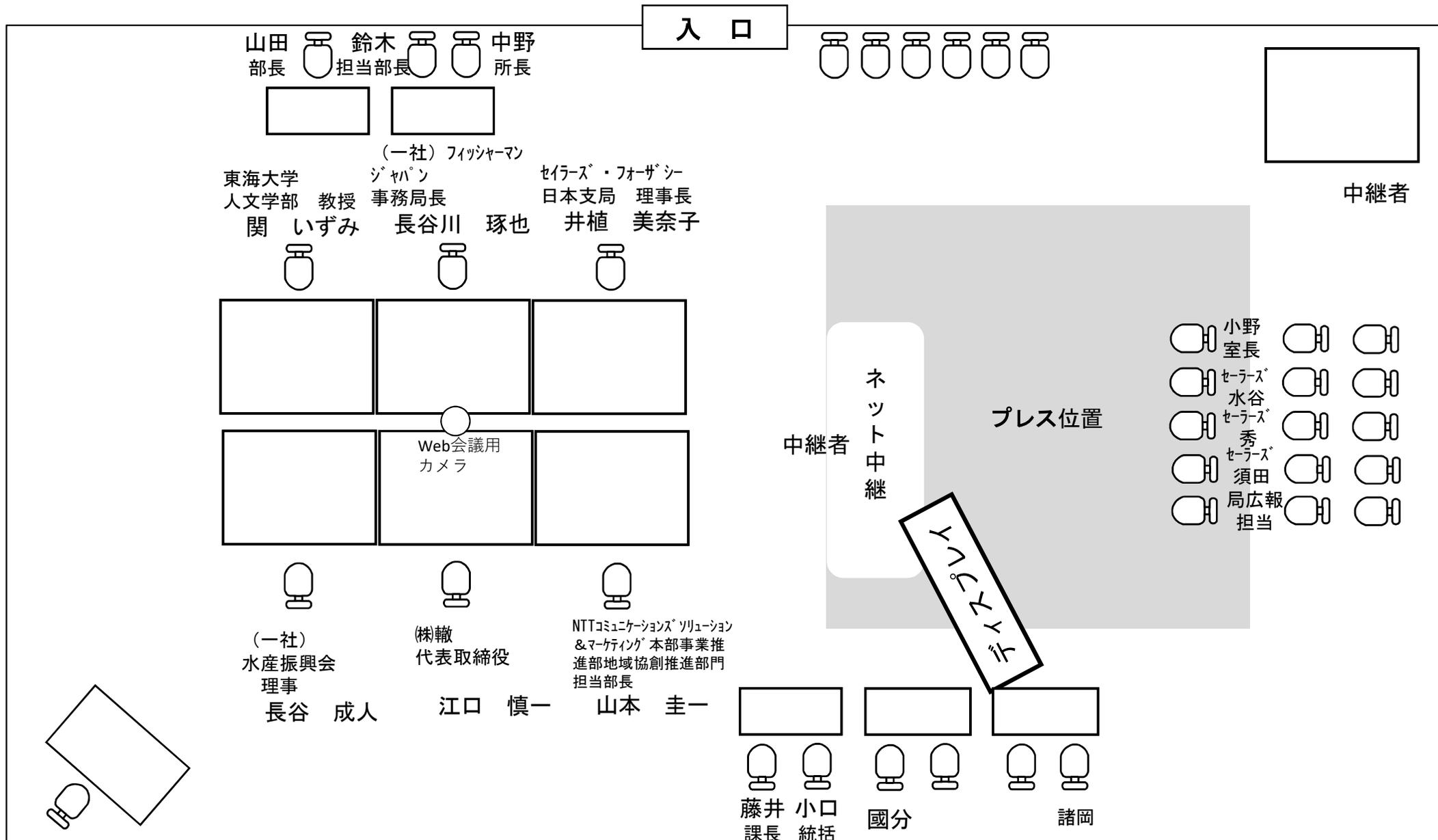
東京都庁第一本庁舎7階 中会議室



# 東京の水産業振興に向けた専門懇談会（第1回）第二部～閉会座席表

令和4年8月23日（火） 11時00分～12時30分

東京都庁第一本庁舎7階 中会議室



東京の水産業振興に向けた専門懇談会 課題整理

令和4年8月23日

分野	課題	検討テーマ
<p>環境保全 (資源管理、漁場造成等)</p>	<p>海洋環境が変化する中での水産資源管理の着実な実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資源管理を着実に推進するための調査・評価体制の整備</li> <li>○漁業者の理解と協力を得て資源管理に取り組むために必要な施策(特に、伊豆諸島海域でのキンメダイの資源管理の進め方)</li> <li>○海洋環境が変化する中での栽培漁業、漁場造成の進め方</li> <li>○ブルーカーボンへの関心の高まりへの対応</li> </ul>
<p>人材育成 (女性、担い手)</p>	<p>漁村の人口が減少する中での漁業人材の確保・育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漁家子弟やIターン者を漁業の担い手として呼び込むために必要な支援策や効果的な情報発信</li> <li>○女性・青年漁業者の活躍支援</li> <li>○漁協職員の確保・育成</li> </ul>
<p>ブランド化 (流通・販路開拓など)</p>	<p>東京産水産物の評価・認知度の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相対的に評価の低い東京産水産物の評価を高めるために必要な取組</li> <li>○国内の水産物消費が縮小する中での東京産水産物の価格の維持・向上</li> <li>○販路多角化の一環としての海外販路・他県市場等の開拓、eコマース等の進め方</li> <li>○東京産の鮮魚や加工品(くさや等)の認知度向上に向けたPR等の進め方</li> </ul>
<p>DX</p>	<p>都の水産業の実態に即したスマート水産技術の導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○島しょ地域の漁業(漁船漁業が主体)の効率化に向けたデジタル化の推進</li> <li>○都が整備を進めている海況予測システムでのアクティブユーザーの創出</li> <li>○内水面養殖業(零細かつ山間部に分散点在)の作業負担軽減、巡回指導の効率化に向けたデジタル化の推進</li> </ul>